

平成 23 年度の一般会計の決算額は、歳入が 277 億 3,116 万円、歳出が 270 億 985 万円で、歳入は前年度比約 6 千万円の増額、歳出は約 3 億円の減額となりました。歳入から歳出を差し引いた形式収支は 7 億 2,131 万円で、このうち翌年度に繰り越された事業に関する事業費 3,867 万円を差し引いた **6 億 8,264 万円が実質的な黒字**になります。

図 財政課 (☎ 82-1131)

◎特別会計の決算

会計名	歳入	歳出
訪問看護ステーション事業	1,908 万円	1,396 万円
駐車場事業	3,466 万円	3,035 万円
国民健康保険	76 億 2,081 万円	73 億 4,946 万円
介護保険	51 億 3,108 万円	50 億 476 万円
後期高齢者医療	8 億 3,589 万円	8 億 3,536 万円
地方卸売市場事業	911 万円	896 万円
下水道事業	28 億 3,949 万円	28 億 2,376 万円
農業集落排水事業	9,079 万円	9,066 万円
小型自動車競走事業	98 億 2,180 万円	104 億 391 万円

財政
まめ知識

経常収支比率 93.3%
*平成 22 年度 93.2%

市税等の一般財源(自由に使える財源)に占める義務的経費(人件費・扶助費・公債費)の割合のことをいいます。これは、財政のゆとり度を示す重要な指標で、割合が低いほど財政にゆとりがあることとなります。

合併特例債

合併を行った市町村がまちづくりの推進のため市町村建設計画に基づいて行う事業や基金を造成するために、その財源として借り入れることのできる地方債(ローンの借入)のことをいいます。市民が一体となったまちづくりに向けて、まちづくり市民会議の意見や財政計画、将来の公債費の動向を注視しながら事業を厳選していきたいと考えています。

■これまで行った主な事業

浄化センター統合事業、学校施設耐震化事業など

◎基金残高(現金)

23 年度		22 年度	
決算年度末時	出納閉鎖時	決算年度末時	出納閉鎖時
平成 24 年 3 月 31 日現在	平成 24 年 5 月 31 日現在	平成 23 年 3 月 31 日現在	平成 23 年 5 月 31 日現在
46 億 9,421 万円	35 億 724 万円	43 億 2,577 万円	27 億 9,171 万円

※一般会計と特別会計すべての基金残高です。

◎地方債残高

	23 年度末	22 年度末
一般会計	286 億 7,940 万円	286 億 3,861 万円
特別会計	210 億 2,511 万円	211 億 8,380 万円
合計	497 億 451 万円	498 億 2,241 万円
市民一人あたり	約 75 万円	約 75 万円

※市民一人あたりの額は、それぞれの年度の 3 月 31 日現在の人口で計算しています。



市民一人あたりに使われたお金の内訳

一般会計の歳出額約 270 億円を市民一人あたりで計算すると約 41 万円です。そのお金は次のように使われました。

※平成 24 年 3 月 31 日現在の人口(65,740 人)で計算しています。



ごみ処理や環境を守るため

3 万 5 千円



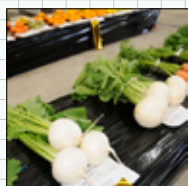
市民の健康を守るため

13 万 7 千円



消防や防災対策のため

2 万円



農林水産業・商業のため

1 万 9 千円



道路・公園などまちの整備のため

3 万 2 千円



その他(市の運営など)

12 万 6 千円